

定例記者会見資料



○日 時	平成30年11月8日(木) 13時30分～
○会 場	島根県立大学 本部棟2階 特別応接室
○会見者	清原正義 理事長・学長
○会見項目	<p>【3キャンパス共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「島根県公立高等学校長協会と島根県立大学・島根県立大学短期大学部との懇談会」について ……………〔資料1〕 <p>【浜田キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第16回 西周シンポジウムの開催について ……………〔資料2〕
○資料提供項目	<p>【3キャンパス共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年11月試行調査(プレテスト)における報道対応等について ……………〔資料3〕 ・平成30年度保健管理センター健康教育講演の開催について ……………〔資料4〕 ・平成30年度「カケハシ・プロジェクト」(対日理解促進交流プログラム)への採択について ……………〔資料5〕 <p>【出雲キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・反射材着用推進リーダー「キラリ推進隊」について ……………〔資料6〕 ・看護栄養学部 推薦入試の出願受付開始について ……………〔資料7〕 ・島根県農業協同組合との包括的連携協定の締結について ……………〔資料8〕
○行事予定	<p>【浜田キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島根県立大学総合政策学会特別講演会 演題:「トランプ外交」とは何か——歴史からの問い 講師:西崎 文子(にしざき ふみこ)氏 (東京大学大学院総合文化研究科 教授) ……………11月30日(金)14時50分～16時20分 @浜田キャンパス 講堂

※会見及び資料提供に関する問い合わせは、資料に記載されている担当者あてにお願いします。
 なお、行事予定の問い合わせは、以下のとおり、お願いします。

浜田キャンパス 企画調整室 TEL 0855-24-2201
 出雲キャンパス 管理課 TEL 0853-20-0200
 松江キャンパス 管理課 TEL 0852-26-5525

島根県立大学
 マスコット
 キャラクター
 オロリン



※次回の定例記者会見は 平成30年12月13日(木)13:30から開催予定です。

平成 30 年 11 月 8 日
 島根県立大学 浜田キャンパス
 担当：地域連携課 河部
 電話：0855-24-2396

「島根県公立高等学校長協会と島根県立大学・島根県立大学短期大学部との懇談会」

- ◆日時：平成 30 年 11 月 29 日（木） 14：30～17：00（キャンパスツアーは 14：00～）
- ◆場所：島根県立大学 出雲キャンパス 3 号館 北会議室

●目的

本学の学生が取り組んでいる活動を知っていただくとともに県内の公立高等学校等と本学との連携をより深めていくことを目的として開催する。お互いの信頼関係を築き、連携・協力することにより地域貢献に資する新たな取組などへ繋げていく。

また、懇談会開始前にこのたびの学部再編により増設された新棟も含めて、出雲キャンパス内を見学できるキャンパスツアーを実施し、出雲キャンパスの学習環境についても紹介する。

●内容 ※詳細は、「進行表」参照

- ・島根県立大学の現状および展望についての説明
- ・各学部の紹介および各キャンパスの学生または卒業生による取組等の発表
- ・意見交換

※懇談会開始前に出雲キャンパス内をご案内するキャンパスツアーを実施。（希望者のみ）

【進行表】

時間	内 容
14:00	キャンパスツアー（希望者のみ）約 20 分
14:30	懇談会開始 開会挨拶
14:35	島根県立大学の現状および展望についての説明
14:45	学部説明（浜田キャンパス総合政策学部）
14:47	活動発表① 15 分 質疑応答 5 分 <浜田キャンパス> 「本当はすごい！江津市庁舎－文化的地域資源としてのその魅力と可能性を考える－」
15:07	学部説明（出雲キャンパス看護栄養学部）
15:09	活動発表② 15 分 質疑応答 5 分 <出雲キャンパス> 「デンマークで見つけよう！Road of 幸福度 No.1 しまね」
15:29	学部説明（松江キャンパス人間文化学部）
15:31	学部説明（短期大学部）
15:33	活動発表③ 15 分 質疑応答 5 分 <松江キャンパス> 「Catch my dream !～卒業生からのビデオ・レター～」
15:53	休憩
16:03	意見交換 約 50 分
16:55	閉会挨拶
17:00	閉会

●出席者（予定）

- ・島根県立高等学校長、松江市立高等学校長、島根県立特別支援学校長
- ・清原理事長・学長、副理事長、各キャンパス〔副学長、学部長、学科長、アドミッションセンター長・副センター長〕外



立高広重《東京汐留鉄道館蒸気車待合之園》／国立国会図書館デジタルコレクション

第16回

西周

シンポジウム

主催：島根県立大学
津和野町

テーマ

[哲学思想史から見た西周]

プログラム

〈講演〉

- ・黒住真[東京大学名誉教授]
「日本の哲学思想における西周の意義」

〈第1回西周賞授賞式〉

- ・受賞者：藤野真拳[東義大学校(韓国)助教授]
「西周の法思想と教思想
—「思慮」ある「激怒」が蠢く秩序—」
- ・審査委員長講評 印刷博物館 館長 樺山紘一
- ・受賞者記念スピーチ

◎お問い合わせ：島根県立大学企画調整室 ☎ 0855-24-2201

◎申込不要 津和野町教育委員会(郷土館) ☎ 0856-72-0300

会場

津和野町コミュニティセンター
大集会室 (島根県鹿足郡津和野町後田口66-2)

日時

平成30年12月1日(土)
13時30分～16時20分

平成 30 年 11 月 8 日
島根県立大学 浜田キャンパス
担当：竹口・松崎
電話：0855-24-2203

取材についてのお願い

－ 試行調査（プレテスト）の円滑な実施に御協力をお願いします。－

1 本学における試行調査実施内容

本学が設置する島根県立大学試験場では、「A日程」にて試行調査を実施し、「国語」と「数学①」の2教科のみを実施します。

2 報道関係の窓口

報道関係者への対応は、本学の試験場本部の広報担当者が行いますので、試行調査に関する問合せ等については、次の者をお願いします。

担 当 者：島根県立大学 教育研究支援部長 中澤信善
電 話 番 号：0855-24-2282
集合時間・場所：島根県立大学本部棟玄関ロビー 12時30分

3 試験場での取材

試験場での取材は、あらかじめ許可を得てください。

取材の際は、各社記者証を提示し、腕章等で報道関係者であることを明示願います。

4 試験室内での撮影

- (1) 本学が指定する試験室に限り、「国語」のテスト開始前にテレビ、写真の撮影を許可します。
- (2) 試験室における撮影は、準備時間を含め、12時55分から10分以内とします。
- (3) 撮影に当たっては、受検者に動揺を与えないようにするとともに、必ず広報担当者の指示に従ってください。
- (4) 受検者が特定できるような撮影は、行わないでください。
- (5) 問題を映す、問題の内容に触れるコメントの報道等、問題の内容が分かるような報道を下記6の問題等の発表時間前に行わないでください。
- (6) 本学が指定する試験室以外の試験室及び試験室のある建物への立入りはできません。
- (7) 指定した場所以外での敷地内取材はお控えください。

5 不測の事態発生時の取材

不測の事態が発生してテストが中止された場合などにおいても、必ず広報担当者の指示に従ってください。

6 問題及び正解等の発表

問題及び正解等は、「国語」については、大学入試センターのホームページにおいて11月10日（土）19時00分（予定）に発表します。

「数学①」については、翌日にB日程において同一の問題を使用して試行調査を実施することから、同ホームページにおいて11月11日（日）18時30分（予定）に発表しますので、公表日時にご注意願います。

7 その他

- (1) 受検者へのインタビューは、本人及びその保護者に確認の上で行ってください。具体的な問題内容に触れるコメント等は、上記6の問題等の発表時間以降に報道することとし、それ以前に行わないでください。
- (2) 本試行調査の詳細については、大学入試センターにお問い合わせください。
(連絡先：大学入試センター総務企画部総務課広報係 電話 03-5478-1316)



平成30年10月24日
独立行政法人大学入試センター

大学入学共通テスト導入に向けた試行調査（プレテスト）について

2020年度からの「大学入学共通テスト」の実施に向け、独立行政法人大学入試センターでは、昨年度に行った試行調査（プレテスト）での記述式・マーク式の問題の検証に加え、今年度は実施運営面を含めた総合的な検証を行うため、平成30年11月10日（土）・11日（日）の日程で、大学入試センター試験利用大学を会場として試行調査（プレテスト）を実施します。その概要について、別添のとおりお知らせします。

大学入学共通テストの導入に向けた試行調査（プレテスト）について

1. 趣旨

平成 29 年 7 月に文部科学省が公表した「大学入学共通テスト実施方針」及び「大学入学共通テスト実施方針策定に当たっての考え方」（以下「実施方針」という。）では、2020 年度からの「大学入学共通テスト」の実施に向けて、実施内容や実施体制等についてプレテストを通じた検証を行うこととされている。これを受けて大学入試センターでは、平成 29 年度（11 月及び 2 月）に、記述式問題を含む試験問題の作成、記述式問題の採点体制等について分析・検証するため、高等学校等を会場として試行調査（プレテスト）を実施した。

平成 30 年度は、平成 29 年度の検証項目に加え、実施運営面も含めた総合的な検証を行うため、実際の試験実施体制により近い形で、大学入試センター試験を利用する大学を会場として、11 月 10 日（土）・11 日（日）の日程で試行調査（プレテスト）を実施する。

※ 1 今回の試行調査（プレテスト）の趣旨や問題作成の方向性等については、平成 30 年 6 月 18 日に公表した「大学入学共通テスト」における問題作成の方向性等と本年 11 月に実施する試行調査（プレテスト）の趣旨についてを参照。同資料は大学入試センターのホームページで公表するとともに、各高等学校・大学等の関係機関にも送付し周知している。

※ 2 受検上の配慮（記述式問題の解答用紙の設計等、点字問題）については、別途、平成 30 年度中に試行調査（プレテスト）を実施する（「（参考）大学入学共通テストに向けた主なスケジュール」参照）。

2. 平成 30 年度試行調査（プレテスト）の概要等

（1）実施概要

区 分	A 日程	B 日程
実施教科 （科目）	国語（「国語」） 数学①（「数学Ⅰ・数学A」）	《パターン1》 国語（「国語」） 地理歴史、公民（「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」） 数学①（「数学Ⅰ・数学A」） 理科①（「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」） 外国語（「英語（筆記[リーディング]）」、「英語（リスニング）」）
		《パターン2》 国語（「国語」） 数学①（「数学Ⅰ・数学A」） 数学②（「数学Ⅱ・数学B」） 理科②（「物理」「化学」「生物」「地学」） 外国語（「英語（筆記[リーディング]）」、「英語（リスニング）」） ※ 地理歴史、公民、理科①、理科②はそれぞれ2科目必答。
	時間割は、別添1「試行調査実施教科・科目、時間割」を参照。	
受検形態	全員が国語、数学①を受検。	上記パターン1、パターン2どちらかを受検。
解答方式	国語及び数学①はマーク式と記述式、それ以外の教科はマーク式のみ。	
受検者数※ （実人数）	84,444 人	
	66,895 人	17,549 人
対象者	高等学校2年生以上（中等教育学校後期課程の相当する学年を含む。）	原則、高等学校3年生（中等教育学校後期課程の相当する学年を含む。） ※ 各校の実情により、履修が終了している場合は、高等学校2年生の受検も可能。
協力校数	1,143 校	708 校
	都道府県別の協力校数については、別添2「都道府県別協力校数及び試験場数」参照。	
試験場数	454 試験場	74 試験場
	都道府県別の試験場数については、別添2「都道府県別協力校数及び試験場数」、試験場一覧については、別添3「平成30年度試行調査（プレテスト）試験場一覧」参照。	

※受検者数は、平成 30 年 10 月 24 日時点の予定数。

(2) 実施教科・科目別受検者数

(単位:人)

実施教科・科目	A日程	B日程 パターン1	B日程 パターン2	合計
国語	66,895	9,775	7,774	84,444
世界史B		3,634		3,634
日本史B		5,672		5,672
地理B		1,616		1,616
現代社会		3,527		3,527
倫理		1,962		1,962
政治・経済		3,139		3,139
英語(筆記[リーディング])		9,775	7,774	17,549
英語(リスニング)		9,775	7,774	17,549
数学Ⅰ・数学A	66,895	9,775	7,774	84,444
数学Ⅱ・数学B			7,774	7,774
物理基礎		990		990
化学基礎		6,301		6,301
生物基礎		8,928		8,928
地学基礎		3,331		3,331
物理			5,301	5,301
化学			7,648	7,648
生物			2,531	2,531
地学			(※) 186	(※) 186

※地学については、高等学校を会場として試行調査を行う118人を含む。

(参考) 大学入学共通テストに向けた主なスケジュール(平成30年10月24日時点)

平成29年7月13日	「大学入学共通テスト実施方針」の公表(文部科学省)
平成29年11月	平成29年度試行調査(プレテスト) (国語、地理歴史、公民、数学①、数学②、理科)
平成30年2月	平成29年度試行調査(プレテスト) (外国語(英語)、受検上の配慮)
平成30年6月18日	「大学入学共通テスト」における問題作成の方向性等と本年11月に実施する試行調査(プレテスト)の趣旨について」の公表
平成30年9月25日 ～10月31日	受検上の配慮に関する試行調査(記述式問題の解答用紙の設計等)
平成30年11月10日・11日	平成30年度試行調査(プレテスト)
平成31年2月～3月	受検上の配慮に関する試行調査(点字問題)
平成30年度内	平成30年度試行調査(プレテスト)の結果報告
平成31年度初頭(予定)	「大学入学共通テスト実施大綱」の策定・公表
2021年1月中旬(予定)	「大学入学共通テスト」の実施

試行調査実施教科・科目，時間割

① A日程

日程	実施教科・科目		受検者 入室終了	テスト 開始	テスト 終了	記述式問題に おける解答結果 の確認※1開始	解答結果の 確認終了
平成 30 年 11 月 10 日 (土)	国語	「国語」	13:00 まで	13:10	14:50	15:00	15:20
	数学①	「数学Ⅰ・数学A」	15:50 まで	16:00	17:10	17:25	17:35

② B日程 (パターン1)

日程	実施教科・科目		受検者 入室終了	テスト 開始	テスト 終了	記述式問題に おける解答結果 の確認※1開始	解答結果の 確認終了		
平成 30 年 11 月 10 日 (土)	地理歴史, 公民	「世界史B」「日本史B」 「地理B」「現代社会」 「倫理」「政治・経済」	【第1解答科目】						
			9:00 まで	9:10	10:10				
			【第2解答科目】						
				10:20	11:20				
	国語	「国語」	12:20 まで	12:30	14:10	14:20	14:40		
外国語	「英語(筆記 [リーディング])」 「英語(リスニング)」※2	15:10 まで	15:20	16:40					
		17:00 まで	17:10	17:50					
11 月 11 日 (日)	理科①	「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」	9:00 まで	9:10	10:10				
	数学①	「数学Ⅰ・数学A」	10:40 まで	10:50	12:00	12:10	12:20		

③ B日程 (パターン2)

日程	実施教科・科目		受検者 入室終了	テスト 開始	テスト 終了	記述式問題に おける解答結果 の確認※1開始	解答結果の 確認終了		
平成 30 年 11 月 10 日 (土)	国語	「国語」	12:20 まで	12:30	14:10	14:20	14:40		
	外国語	「英語(筆記 [リーディング])」 「英語(リスニング)」※2	15:10 まで	15:20	16:40				
			17:00 まで	17:10	17:50				
11 月 11 日 (日)	数学①	「数学Ⅰ・数学A」	10:40 まで	10:50	12:00	12:10	12:20		
	数学②	「数学Ⅱ・数学B」	13:20 まで	13:30	14:30				
	理科②	「物理」「化学」 「生物」「地学」	【第1解答科目】						
			15:00 まで	15:10	16:10				
			【第2解答科目】						
			16:20	17:20					

※1 国語及び数学①のテスト終了後、引き続き、記述式問題について、正答例及び正答の条件等に照らして受検者自身の解答を確認するもの。

※2 B日程の「英語(リスニング)」は、大学入試センター試験において使用している個別音源機器を用いず、大学の放送設備やCDプレーヤー等の音声機器を用いて実施。

都道府県別協力校数及び試験場数（平成30年10月24日時点）

都道府県	日程	協力校数	試験場数	受検者数	都道府県	日程	協力校数	試験場数	受検者数
北海道	A	40	18	1,845	滋賀県	A	12	3	929
	B	18	3	385		B	5	3	147
青森県	A	11	6	700	京都府	A	30	17	1,845
	B	7	2	225		B	15	1	300
岩手県	A	5	4	971	大阪府	A	62	25	3,355
	B	8	1	521		B	43	3	997
宮城県	A	22	9	1,360	兵庫県	A	53	18	3,015
	B	15	1	272		B	27	2	690
秋田県	A	10	4	630	奈良県	A	15	10	850
	B	7	1	81		B	7	2	201
山形県	A	11	4	610	和歌山県	A	6	2	414
	B	5	1	200		B	5	1	150
福島県	A	19	6	984	鳥取県	A	5	1	291
	B	9	1	258		B	5	1	125
茨城県	A	25	6	1,582	島根県	A	3	1	173
	B	23	4	560		B	7	1	96
栃木県	A	24	7	1,515	岡山県	A	20	12	1,218
	B	11	1	379		B	15	1	356
群馬県	A	21	11	1,390	広島県	A	39	15	1,718
	B	15	1	426		B	8	1	188
埼玉県	A	51	21	3,252	山口県	A	12	7	495
	B	29	1	829		B	7	1	38
千葉県	A	44	20	2,080	徳島県	A	6	3	342
	B	23	1	641		B	5	1	190
東京都	A	99	52	6,864	香川県	A	10	3	583
	B	61	8	1,519		B	7	1	256
神奈川県	A	58	17	2,888	愛媛県	A	14	1	1,020
	B	30	4	702		B	11	1	330
新潟県	A	23	14	1,462	高知県	A	9	4	494
	B	17	1	428		B	6	1	273
富山県	A	11	3	758	福岡県	A	74	24	3,837
	B	11	1	319		B	50	3	979
石川県	A	13	5	852	佐賀県	A	8	3	430
	B	12	1	235		B	7	1	220
福井県	A	13	2	618	長崎県	A	12	5	819
	B	9	1	53		B	11	1	313
山梨県	A	10	5	851	熊本県	A	15	4	1,034
	B	2	1	229		B	9	1	233
長野県	A	22	8	1,349	大分県	A	11	4	543
	B	13	1	416		B	7	1	190
岐阜県	A	20	12	1,203	宮崎県	A	12	5	741
	B	12	1	270		B	8	1	260
静岡県	A	35	10	1,928	鹿児島県	A	22	5	1,212
	B	18	1	665		B	14	1	163
愛知県	A	79	27	4,228	沖縄県	A	11	5	691
	B	54	4	868		B	11	1	259
三重県	A	16	6	926	合計	A	1,143	454	66,895
	B	9	1	114		B	708	74	17,549

※ 各都道府県における具体的な試験場については、別添3「平成30年度試行調査（プレテスト）試験場一覧」参照。

※ 協力校数は延べ数であり、例えば、ある学校がA日程、B日程パターン1、B日程パターン2のそれぞれを応募している場合には、延べ3校として集計。

平成 30 年 11 月 8 日
 島根県立大学 出雲キャンパス
 保健管理センター 担当 大前
 電話：0853-20-0200

平成 30 年度保健管理センター健康教育講演の開催について

1. 演 題 名

「心の持ち方と食事次第で健康になれます！」

2. 目 的

講演を通じて、学生、教職員、地域住民の方に日ごろからの心の持ち方、食生活の重要性を理解していただき、生活習慣病予防し、元気で健康に長寿を得ることに役立ててもらうこと。

3. 日時／場所

- 【第 1 回目】平成 30 年 11 月 28 日（水）15 時 10 分～16 時 30 分
 ／〔浜田キャンパス〕 講義棟 中講義室 6
- 【第 2 回目】平成 30 年 12 月 5 日（水）13 時 10 分～14 時 40 分
 ／〔松江キャンパス〕 大講義室
- 【第 3 回目】平成 31 年 1 月 23 日（水）13 時 10 分～14 時 40 分
 ／〔出雲キャンパス〕 5 号館 中講義室

4. 内 容

北欧のある国で 1974 年から 15 年かけてどのような健康管理法が効果的なのかを調査する検討が行われました。その結果、過保護的・他律的な健康管理は、健康を守ることにはならず、逆に、依存、免疫不全、抵抗力低下、要するに不健全な状態をもたらすことが指摘されました。また、東北大学名誉教授・近藤正二先生が 1935 年から 36 年かけて、北海道から沖縄の八重山諸島に至るまでの全国津々浦々 990 か所を自ら出向いて行った調査「日本の長寿村短命村」によると、長寿、短命の分かれ道は食生活であることが分かりました。最近では、この二つの研究結果が科学的に証明されるようになってきています。昨年、Lancet という超一流の医学雑誌に近藤先生が発表したと同様の食事内容が死亡率減少と相関するという報告がなされました。

今回は、どのような心の持ち方・食事法が健康長寿に導くかを実際の例を提示しながら詳しく説明します。そして、なぜ、そのような方法が生活習慣病予防になるかについて、私たちが最近、証明したデータも加えながら解説します。この講座を機会に、日ごろからの心の持ち方・食事法の重要性をご理解されて、生活習慣病にならない健康長寿の体になられることを期待します。

5. 講 師

公立大学法人島根県立大学保健管理センター長 秦 幸吉（はた こうきち）

島根県立大学 出雲キャンパス 看護栄養学部 教授。

島根医科大学卒業。医学博士。日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医・指導医。日本超音波医学会認定超音波専門医・指導医。香川県立保健医療大学名誉教授。日本ファンクショナルダイエット協会認定シニアケトジェニックダイエットアドバイザー。

6. 対 象 者 学生、教職員、参加希望の一般の方 ※申し込み／参加費 不要。
 （直接会場へお越しください。）

平成 30 年 11 月 8 日

島根県立大学 国際交流センター

担当：国際交流課 岩本・雪吹

TEL：0855-25-9063



日本政府(外務省)が推進する平成 30 年度カケハシ・プロジェクトに

島根県立大学が採択され、ハワイで活動をおこないます

日本政府（外務省）が推進する対日理解促進交流プログラムの一環で北米地域を対象に実施する交流事業「カケハシ・プロジェクト」に島根県立大学が採択されました。本学の選抜された学生 11 名がハワイで日本文化（島根の文化）を伝え、国際社会における対日イメージの向上や日本への関心を増進することを目的に活動をおこないます。

現地では、現地大学生向けに、プレゼンテーションとパフォーマンスをおこないます。

- ・プレゼンテーション 1 「石見神楽：進化し続ける伝統芸能」
- ・プレゼンテーション 2 「小泉八雲の怪談が開く『心の扉』」
- ・プレゼンテーション 3 「『愛してる』を方言で言ってみよう！」
- ・パフォーマンス 1 「耳なし芳一」 / パフォーマンス 2 「飴を買う女」

● 概要

- 派遣先：ハワイ ※山形大学との合同実施
- 派遣期間：平成 30 年 12 月 9 日（日）～12 月 16 日（日）
- 派遣学生：11 名（浜田キャンパス 8 名・出雲キャンパス 3 名）
- 引率教員：ヘネベリー・スティーヴン准教授

● 事業スケジュール

- 事前研修（計 3 回）：9 月～11 月のうち以下のとおり
- ハワイ派遣：平成 30 年 12 月 9 日（日）～12 月 16 日（日）
- 報告会（ポスターセッション等）：平成 30 年 3 月末日まで

● 事前研修

- 第 1 回 石見地方の伝統芸能「石見神楽」を学ぶ
平成 30 年 9 月 29 日（土）13:30 ～平成 30 年 9 月 30 日（日）
場所：アサリハウス（島根県江津市浅利町 1 6 6-2）
- 第 2 回 小泉八雲を学ぶ（講師：小泉凡館長）
平成 30 年 10 月 14 日（日）10:00 ～16:00
場所：小泉八雲記念館等
- 第 3 回 最終プレゼン練習
平成 30 年 11 月 17 日（土）10:00 ～16:00
場所：島根県立大学出雲キャンパス



● 当事業の趣旨（カケハシプロジェクト募集要項より抜粋）

■概要

対日理解促進交流プログラムは、日本政府（外務省）が推進する事業であり、日本とアジア大洋州、北米、欧州、中南米の各国・地域との間で、対外発信力を有し、将来を担う人材を招へい・派遣するものです。

カケハシ・プロジェクト（KAKEHASHI Project）は、「対日理解促進交流プログラム」のうち北米地域を対象とした交流事業です。米国派遣事業では 1 年間でおおよそ 350 人規模の将来を担う人材（高校生・大学生・大学院生等）を原則として 8 日間程度派遣します。

■目的

日本と米国との間で、対外発信力を有し、かつ将来を担う人材を派遣し、政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策等に関する対日理解の促進を図るとともに、親日派・知日派を発掘し、また、日本の外交姿勢や魅力等について、本事業参加者から積極的に発信してもらうことで対外発信を強化し、我が国の外交基盤を拡充することを目的としています。

平成30年11月8日

島根県立大学出雲キャンパス

担当者：河瀬一美・坂田栄一郎

電話：0853-20-0200(代)

反射材着用推進リーダー「キラリ推進隊」について

1. 趣旨

出雲警察署では、毎年、日没時間が早まるこの時期に、模範となって反射材を身に付ける反射材着用推進リーダー「キラリ推進隊」を関係団体及び大学、高等学校へ委嘱されています。「キラリ推進隊」は、自らが率先して反射材を着用して外出することで、着用しているキラリ推進隊の姿を見た方に対して「自ら着用しようという気運」を醸成することを目的とされています。

この取組に対し出雲キャンパスでは、昨年度から学生自治会が委嘱を受け、活動を行っています。

また、本学では、防犯対策として、毎年新入生オリエンテーション時に、出雲警察署、かわと交番の方にお越しいただき、防犯の講演を実施しています。大学周辺地域においては、過去に不審者出没事例などもあり、学生自身が自衛の自覚と心構えを持つことを目的に護身術講習会も例年実施しています。

さらに、10月10日には、出雲警察署と包括的連携・協力に関する協定を締結し、学生の安心・安全な学生生活の実現に向け、今後より一層連携していくこととしています。

2. 企画者

出雲警察署交通課

3. 対象

出雲キャンパス学生自治会

4. 委嘱期間

委嘱の日から1年間

5. 委嘱式

日時：平成30年10月31日（水）16：30～17：30

場所：出雲警察署 2階講習室（出雲市塩冶有原町2丁目19番地）

平成30年11月8日
 島根県立大学出雲キャンパス
 担当者：工藤祐司・坂田栄一郎
 電話：0853-20-0200(代)

島根県立大学看護栄養学部（出雲キャンパス） 平成 31 年度 推薦入試の願書受付開始について

1. 推薦入試について

看護栄養学部では、島根県内の高等学校等を対象に推薦入試を実施します。下記の推薦入試に関しまして、11月8日(木)から15日(木)まで、出願を受付けます。

- 一般推薦：島根県内の高等学校又は特別支援学校高等部を対象とします。
- 地域特別 A：島根県隠岐郡内にある高等学校を対象とします。(看護学科のみ)
- 地域特別 B：「過疎地域自立促進特別措置法」に基づく島根県内の過疎地域のうち、本学が指定した地域にある高等学校を対象とします。(看護学科のみ)
- 専門高校・
 総合学科推薦：島根県内の高等学校の職業学科もしくは総合学科を対象とします。

- 2. 募集人員** 看護学科 40名 (推薦入試の募集人員には、「地域特別 A・B」「専門高校・総合学科推薦」の募集人員を含みます。)
 健康栄養学科 20名 (「専門高校・総合学科推薦」の募集人員を含みます。)

3. 出願資格

詳細は平成 31 年度学生募集要項 推薦入試 をご確認ください。

4. 試験日程

入試区分		大学入試センター試験	出願期間	(個別)試験	合格発表
推薦入試	一般推薦	平成 31 年 1 月 19 日(土)	平成 30 年 11 月 8 日(木) ∩ 11 月 15 日(木)	平成 30 年 12 月 8 日(土)	平成 31 年 2 月 12 日(火)
	地域特別 A・B (※)	1 月 20 日(日)		平成 30 年 12 月 9 日(日)	
	専門高校・総合 学科推薦			平成 30 年 12 月 8 日(土)	平成 30 年 12 月 14 日(金)

(※) 看護学科のみ実施

※出願期間最終日の取扱い：持参の場合は、最終日 17 時 15 分事務室必着。

郵送の場合は、最終日消印有効。



島根県立大学
出雲キャンパス



島根県立大学
マスコット
キャラクター
オロリン

平成30年11月 8 日
島根県立大学出雲キャンパス
担当：管理課 安立
(TEL)0853-20-0200

島根県農業協同組合との包括的連携協定の締結について

1 経緯

- (1) 島根県農業協同組合（以下「JAしまね」という。）は、これまで地域の資源を活かし、希望と活力に満ちた農業を実現するために、水と緑と人を育み、豊かな大地と食を次世代に引き継ぐことを基本理念にしている団体です。
- (2) 現在まで、島根県と JA しまね斐川地区本部との産学官連携事業で、「島根県産米の特性の見える化」についての受託研究、JA しまね石見銀山地区本部との「石見銀山和牛の品質評価と商品の提案」の受託研究なども行っています。また、現在まで島根県立大学出雲キャンパス（以下「県立大学」という。）ではエゴマの商品開発などを地元企業などと積極的に行い、実際に販売中の商品も数多くあります。今後も JA しまねと県立大学とが協力し、地域食材を活用した商品開発、基礎研究分野での連携を図る事で両者にとって大きな成果が期待されるため、このたび、包括的連携協定を締結することになりました。

2 協定締結の趣旨

- (1) 連携協定を結ぶことにより、食と農と環境といった島根県の次世代にも引き継げるテーマを共同で行うことができる。すなわち、米をはじめとした農産物等に関する基礎研究・分析について県立大学の持つ人的資源、知的資源、物的資源の活用ができる。
- (2) 学生の社会貢献・地域交流として JA しまねが開催するイベントに協力できる。
- (3) その他、連携活動を進めて行く中で新たな連携事業を行う。

3 連携事項

- (1) 食と農と環境をテーマにした題材についての企画・研究に関すること。
- (2) 米をはじめとした農産物等に関する基礎研究・分析に関すること。
- (3) 県立大学と JA しまねの持つ人的資源、知的資源、物的資源の活用に関すること。
- (4) 人材育成及び栄養学・医学等の学術の発展に関すること。
- (5) 学生の社会貢献・地域交流に関すること。

4 調印式の概要

日 時：平成30年11月26日（月） 10:30～11:00

会 場：松江市殿町19-1 島根JAビル

次 第：両者代表あいさつ、協定内容説明、調印、質問受付

出席者：島根県農業協同組合 代表理事組合長 竹下正幸 ほか
公立大学法人島根県立大学 理事長 清原正義 ほか



島根県立大学
出雲キャンパス



島根県立大学
マスコットキャラクター
オロリン